

平成30年7月  
豪雨関連平成30年9月21日  
水管理・国土保全局 河川環境課

## 「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会」を開催します

「平成30年7月豪雨」では、西日本を中心に広い範囲で記録的な豪雨となり、甚大な被害が発生しました。国土交通省所管ダム<sup>※1</sup>においては、全国558ダムのうち、213ダムで洪水調節<sup>※2</sup>を実施し、被害軽減に貢献しました。

一方、洪水調節を行ったダムのうち、8ダムにおいては甚大かつ長時間にわたる豪雨により、洪水調節容量を使い切る見込みとなり、ダムへの流入量と同程度の放流量とする異常洪水時防災操作に移行しました。

国土交通省では、今後の気候変動の影響等による異常豪雨の頻発化が懸念される中、より効果的なダムの操作や有効活用の方策、操作に関わるより有効な情報提供等のあり方を検討することを目的として、「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会」を設置し、9月27日（木）に第1回検討会を下記のとおり開催します。

※1 国土交通省、水資源機構、都道府県が管理し治水目的を有するダム

※2 洪水被害を防止・軽減するため、洪水時流量の一部をダムに貯めることでダム下流河川の流量を減らすこと

## 記

1. 日 時 平成30年9月27日（木）13:00～15:00

2. 場 所 国土交通省 水管理・国土保全局A会議室

3. 委 員 別紙のとおり

4. 議 題 (1) 平成30年7月豪雨におけるダムの状況  
(2) ダムの洪水調節機能に関する現状と課題

5. その他

- ・ 検討会は公開にて行います。
- ・ 会議の傍聴を希望される場合は、9月26日（水）12:00までに、件名を「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会傍聴希望」とし、氏名（ふりがな）、所属、連絡先（メールアドレス、電話番号）を明記の上、以下のメールアドレスもしくはFAX番号宛てにお送りください。

E-mail: hqt-damukentoukai@ml.mlit.go.jp FAX: 03(5253)1603

- ・ 会議室の収容人数を超える場合は、申込み順といたします。なお傍聴は、1社（団体）につき1名までとさせていただきます。
- ・ カメラ撮りは会議の冒頭（委員長挨拶まで）とさせていただきます。
- ・ 会議資料及び議事録は、後日、国土交通省ホームページに掲載します。

## 《問い合わせ先》

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室

企画専門官 空閑 健（内線：35472）

課長補佐 山本 卓男（内線：35492）

代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8449 FAX:03(5253)1603